

街かど診療室
Q & A

老眼について

私のクリニックに、ホームページやこのタウン通信を見て来られた方は、診察室に入った瞬間、怪訝な顔をされがちです。初めは私も分かりませんが、あるとき「先生、メガネなんだ」と言われて気づきました。写真の私はメガネを掛けていないのです。私のかけるメガネ、



伊藤 勇
保谷伊藤眼科院長
大学病院で最先端の眼科医療に携わってきた眼科専門医。地域の医院との連携を積極的に図っている。

これは老眼鏡です。診察の際、どうしても電子カルテでモニターを見ましたのですが、メガネなしではぼやけてしまいます。老眼鏡は40歳を過ぎてからかけ始めました。どうして近くのものが見えなくなってきたためです。まだ大学で手術に明け暮れていた時期でしたが、メガネデビューした日に、当時の教授から「老眼鏡をかけるのは、なんてお前は根性なしなんだ」と、おおよそ科学的根拠のない言葉をかけられました。これによって、老眼は、もともと目のいい人、遠視や近視の人にも起こってきます。そして、疲れ、かすみ目など眼精疲労の症状が出てき

けられたことを思い出します。いつもの絡みだつたのですが、老眼とは何でしょうか。人間はものを見る際に、外界の情報を目の一番奥の網膜にピントを合わせます。光を、角膜、水晶体を利用して網膜の上に集中させるのですが、近くを見るための微妙な調節は水晶体が担っています。この水晶体、若い頃は伸び縮みしてピントを調節するのですが、40歳から50歳にかけて硬くなってくるために調節力が低下します。これによって、老眼は、もともと目のいい人、遠視や近視の人にも起こってきます。そして、疲れ、かすみ目など眼精疲労の症状が出てき

ます。日常、自分の近見作業の距離を把握して眼鏡を作ることが大切です。私は運転用、診察用、読書用と3つを使わないとストレスが溜まります。やはり年には勝てない……正直な私の感想です。

☎ 042-439-8123
西東京市北町 1-6-1
レッツビルディング 3F
<http://www.itoganka.com/>

■科目：網膜硝子体疾患手術、緑内障手術、白内障手術、眼科一般診療

■時間：土曜午後、木・日曜、祝日は休診
※緊急手術は随時対応 ※月・水曜午後は予約優先

| | | | | | | | |
|-------------|--------|----|--------|----|----|---|---|
| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
| 9:30~12:30 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 14:00~17:00 | 検査予約優先 | 手術 | 検査予約優先 | 手術 | 手術 | ○ | ○ |